

三河商人道

PART
143

株式会社
B.Sスタッフィング
代表取締役 中村 勝弘 君
社長

青年部は、経験と研鑽の場



中村さんは平成13年4月に前身の人材派遣業「(有)B.S.ネットワーク」を設立しました。起業当初自惚れもあり「世の中をなめていた」と振り返る中村さん。人材派遣業は素人からの新規参入で、取引先、派遣社員ゼロからのスタート。手探り状態の日々が続き、思うようにならない苦勞の連続で1年に15kgも体重が減ったそうです。業種の性質上、雇ったスタッフは他の待遇の良い会社へ容易に鞍替えする為、突然いなくなってしまうこともザラにあり、夜中に取引先へ呼ばれて中村さん自身が工場のラインに入ったことも。毎日が真剣勝負でしたが「放っておけばそれまで」と誠心誠意の対処を心掛け、とにかく信頼を損なわないよう、常に気配りを怠らずに乗り越えてきました。

お客様はもとより、採用したスタッフ、社員を大切にす配慮と「感謝」の言葉をいつも忘れずに企業努力を続け、リーマンショックの折りに派遣社員が随分と減った中、中村さんは派遣社員を整理する判断を下した取引先に出掛け「今までありがとうございました。現在の経済状況ではやむを得ない対応だとは思いますが、また機会がございましたら是非お声掛け下さい」と挨拶して回り、景気の回復と共に9割以上の取引が元に戻りました。現在、管理スタッフ7名で200名の人材を十数社へ派遣されています。

趣味は、昔から、スキー、ゴルフ、マリンスポーツ、モータースポーツなど多くに触れてこられたそうですが、現在は特にないそうです。会社を立ち上げる以前は、地元岡崎で保守系県会議員の秘書を14年間務め、当時の関係者からは、明るい性格で話し易く、細かいところへの配慮や気配りの出来る秘書との評価を受けていたようです。当時は大半が自身の親世代以上の年齢層の人や、市内の幅広い業種の経営者の方に接する「秘書」という仕事に、普段はストレスがほとんど溜らない性格の中村さんも、時には疲労とストレスで円形脱毛症やじんましんが出たこともあったそうです。

中村さんの会社に勤める役員の方が先に青年部へ入会していましたが、業務多忙で中途退会することになり、社としての責任を果たす意味で替わって入会を決意。卒業まで3年の期間しか無いタイミングでしたが、磯部亮次君や杉浦尚君など同級生の存在もあり、入会を決められました。中村さんに青年部の思い出を尋ねると、「青年部では若い人たちなど、いろいろな人と知り合うことができよかった。多くの刺激を受けました」とのこと。「青年部はよい訓練、そして研修のできる場。人間関係や社会の仕組みを勉強し、会社や組織を運営していく上での術が学べるよい場所だと思う。直接商売に繋げる事を目的とせず、良い友人、知人をたくさんつくる場とし、人としての成長に活かして行ってほしい。若い時に是非入会し、多くを吸収したほうが良い」と、温かいメッセージをいただきました。



東岡崎駅前にある綺麗なオフィス



温かく取材に応じてくださる中村さん



取材スタッフと記念撮影



取材担当 / 交流委員会
深田賢之、三浦康宏、
伊與田晃浩、都筑之泰、
佐野英治、柴田吉久